

事例：No. 1

若手技術者が中心となって取組む効率的な素材生産

1. 林業事業体等名 有限会社フォレストサービス（岩手県雫石町）

2. 林業事業体の概要

- ① 年間素材生産量 8,000m<sup>3</sup>（うち 間伐の占める割合 30%）
- ② 生産する主な樹種 アカマツ、スギ、カラマツ
- ③ 素材生産に関わる作業員数 8名

3. 取組の特長

- ① 小岩井農牧社有林（約 2,000ha）の経営を受託し、持続的な森林経営を目指して、計画的な森林整備、素材生産を行っている。
- ② 退職による職員数の大幅な減少を前に、素材生産を安全かつ少人数で実施できるよう作業システムの改善を行うため、平成 17 年にハーベスタを導入したほか、グラップル付トラック（4 t ベース）やグラップルソーも導入し、素材生産の機械化を積極的に進めてきた。
- ③ 利用間伐は、集材の効率化を図るため、魚骨状の列状間伐を実施し、集材作業は、平坦な地形を生かしたスキッダによる全幹集材が中心となっている。
- ④ 若手技術者の確保・育成に力を入れており、社会保険等の福利厚生充実等による就労環境の整備を進めるとともに、研修等への積極的参加によるスキルアップ、目標の設定と達成状況の評価によるモチベーションの向上に努め、主体的に考え、行動できる人材の育成を進めている。（平均年齢 34 歳）

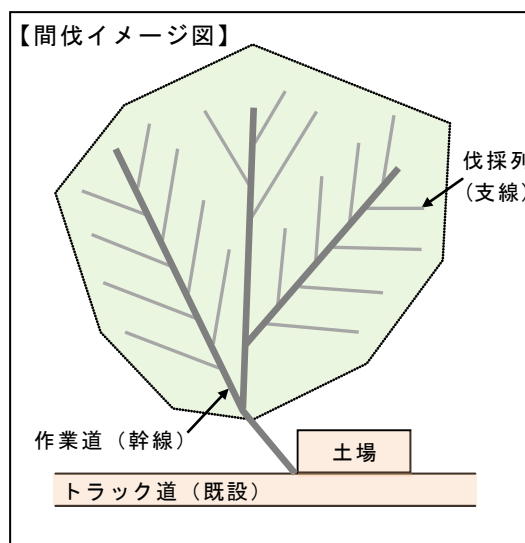
4. 具体的な内容

① 施業方法（利用間伐）

トラック道から作業道（3.6～5.4m）を開設し、作業道を中心に魚骨状に列状間伐（3 残 1 伐）を実施している。残した列についても劣勢木の間伐を実施している。

集材は、地形が平坦であることから、伐採列にスキッダで直接入り込み、全幹集材している。

また、伐採列が作業路の支線の役割を果たすことから、円滑な搬出や残存木への損傷を防ぐため、幹線に対して角度をつけて伐採している。

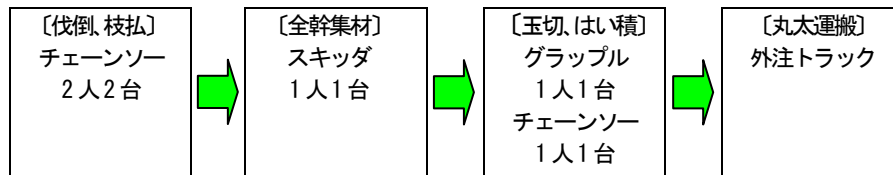


② 使用機械

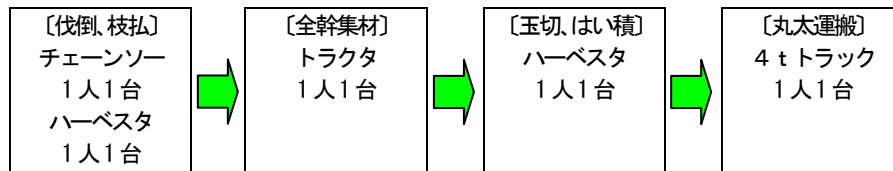
ハーベスタ（ベースマシン 12t, keto150S）1 台、スキッダ（イワフジ T30AF）1 台、グラップル付トラック（4 t ベース、HIABU3000XG）1 台

### ③ 作業システム

#### 1) 旧作業システム（5人/セット）＋外注トラック



#### 2) 現行作業システム（3人/セット）＋自社トラック



### ④ 森林作業道の作設方法

地形が平坦であり、スキッドによる集材であることから、伐開（3.6～5.4m）と排水施設の設置のみとなっている。

### ⑤ 労働生産性及び素材生産コスト（利用間伐）

労働生産性 3.5～7.0m<sup>3</sup>/人・日

素材生産コスト 4,000～9,000円



## 5. 今後の取組等

### ① 地域林業のけん引役

平成25年度に地域の森林経営をけん引する「地域けん引型林業経営体」として県の認定を受け、地元を中心に作業受託森林の拡大を図り、経営計画の策定促進と併せ施業の集約化に取り組むこととしている。

### ② 環境、地域貢献

林業経営活動を行っているフィールド近くには、大型製材工場等があることから、近隣の森林所有者への働きかけも行いながら素材の供給体制整備や、地域未利用資源の有効利用についても取り組むこととしている。

### ③ 安全作業と信用の構築、誇りの持てる職場づくり

若手社員が安心して誇りを持って働けるよう、労働環境、育成環境の整備と技術研鑽に取り組むこととしており、今後も若手技術者の育成が見込まれ、安全な作業の実施と生産性の向上が期待できる。

#### 【問い合わせ先】

所属：岩手県盛岡広域振興局林業振興課

役職・氏名：主任林業普及指導員 成田 一

連絡先：019-629-6613